

事業所名 グループホーム六じょうや

運営推進会議開催報告書

開催日時 令和5年10月26日(水)		
参加者(人数)		議 題
利用者	0名	1 六じょうや基本理念・目指す場所
利用者家族	2名	2 入居者情報
地域住民の代表者	2名	3 利用者の医療看護の状況
市職員	1名	4 行事報告 実績写真添付
地域包括支援センター職員	1名	5 身体拘束廃止委員会
見識者	0名	6 今後の事業計画
事業所	3名	
会 議 録		
<p>2 入居者要介護度の状況、平均年齢、平均介護度、年齢別介護度、面会者数などについて前回との変化を報告しました。</p> <p>3 入居者の医療看護の状況（R5. 8. 24～R5. 10. 25の期間）を報告しました。 〔利用者の転帰状況〕 〔入居者の看護、介護の状況〕 〔利用者の健康教室開催状況〕 講師矢萩看護師</p> <p>・9月 秋から冬の感染症予防について 10月 インフルエンザの流行とワクチン接種について 入居者参加と職員参加で一緒に勉強しています。（別々に参加）</p> <p>4 主な行事報告 ・敬老会 ・カラオケ喫茶 各行事の楽しさを説明し、写真を添付してご家族にも知って頂きました。</p> <p>5 身体拘束廃止委員会 最近ニュースにもなっていますが、高齢者施設での職員による虐待事案ですが、もしあなたが利用者から暴力をふるわれた時、身体拘束を行わないで、利用者を落ち着かせる方法はあるのでしょうか。どのようにしたら一番危険はなくおさまると思いますか。</p> <p>(家族) 世話をしてもらっていることが分からないから抵抗するのではない</p>		

か。

(地域住民) 自分だとカッとすると大声がでるので、後で後悔することがある。

(社協職員) 入居者からの暴力は我慢せざるをえないかもしれない。表現方法がわからないから行うかもしれない。身体拘束はしないようにしなければいけない。

(瀬戸市職員) 暴力的なひとには対策をねって対応するしかないかもしれない。

(職員)

- ・医療的に嫌なことなどをする場合、やられっぱなしで我慢するしかないが、翌日冷静な時にそのことを話す。力加減がわからないのか、後からでもあやまってもらえるといいと思う。
- ・上手に伝えられないのをみこして、なるべく言いたい事を聞くようにしている。暴力的にならないように声掛けしている。

(その他の意見)

特になし

6 今後の事業計画

- ・今期を振り返って
- ・職員の定着について
- ・今後の主な行事について
11月 紅葉ツアー
- ・入居者状況

・次回運営推進会議 2023年 12月 21日(木)

(新型コロナウイルスにより集会が無理な場合は資料をお届けし、ご意見をお待ちしています)。